

[ベッドセンサ]

ヘルスケア領域の新たな扉を開く、
ベッドセンサソリューション。

社会の少子高齢化にともない、ひとに優しく良質で経済的な介護サービスを求める声が高まっています。また、医療/ヘルスケアの分野では、IoTやクラウドサービスの進展とも相まって、遠隔モニタリングなどの技術が普及し始めようとしています。ムラタはこのような市場のニーズに応えるため、非接触型生体モニタリングに新たな価値を提供するセンサソリューションの開発に取り組んでいます。

ベッドセンサは、ベッドに取り付けることで生体から生じるわずかな振動を捉えることができることから、ひとの身体に装着することなく生体情報を取得することを可能にします。ムラタの超高感度・低ノイズのMEMS*加速度センサとマイクロコントローラに組み込まれたアルゴリズムで、離床や在床、各

種生体情報を計測し、計測したデータは無線で送信することができるため、介護現場での負担軽減に貢献します。

ベッドセンサは、新たな事業領域に向けたムラタのイノベーションの一例です。ムラタは、独自の優れた特性を持つセンサを応用する新たな分野として医療/ヘルスケア市場に注目しました。入念な市場調査に基いて研究を重ね、信号の処理機能やアルゴリズムの開発に取り組み、介護機器メーカー向けにセンサ回路、無線モジュールを提供しています。

「ベッドセンサの開発により、私たちはムラタが戦略上注力する医療/ヘルスケア市場での新たなビジネスを開拓しました。また、睡眠分析などの新たな用途への活用にも高い関心が寄せられており、これらのニーズに応える新しい付加機能を開発中です。」
(新規事業推進部 Sten Stockmann)

*Micro Electro Mechanical Systemsの略で、半導体プロセス技術を用いて形成した3次元微細構造を持つシステム。

ムラタのベッドセンサは
非接触式での検知が
可能であり、利用者の
ストレスを軽減します。

グローバルな協力が
成功の鍵

ベッドセンサはフィンランドにあるMurata Electronics Oyから開発がスタートし、中国のMurata(China) Investment Co., Ltd.およびSyChip Electronic Technology(Shanghai) Ltd.、日本の小松村田製作所へとグローバルな協力体制で取り組みました。

ひとに優しい
ムラタの技術が、
医療/ヘルスケアの
進化に貢献します。



上写真前列左より
Murata Electronics Oy
Toni Akkala, Sten Stockmann, 古寺 義孝, Rebecca Xu, Sami Nurmi,
Ulf Meriheinä
後列左より
Joonas Makkonen, Pekka Kostiainen, 福永 寛太, Kaisa Heinio

下写真前列左より
SyChip Electronic Technology (Shanghai) Ltd.
王 康正、吴 世辉、藤川 高志、齐 曰霞、吴 正龙
後列左より
李 晋、郑 伟、樊 煜、丸尾 幸則、周 津津



写真前列左より
株式会社小松村田製作所
西山 陽子、森中 舞、川原 伸子
後列左より
安田 誠、辰巳 尚登、鍋谷 定孝、村 英雄



SCA10Hセンサモジュール

センサとマイクロコントローラからなるSCA10Hセンサモジュールは、介護機器・設備メーカーが自社製品や病院のベッドに搭載できるよう設計されています。また、各種無線モジュールとの組み合わせにより最適なソリューションを提供します。

